

クライメート・チェンジ 新たな環境倫理の探求と対話

吉川成美 監修・著

エヴァン・ベリー／ガイ・カヘーン／ピーター・ヒギンズ／高野孝子
デール・ジェーミソン／豊田光世／イングマー・ペルソン
グスタフ・アリニャス／ジュリアン・サヴァレスキュ／桑子敏雄

新たな視座で気候変動の倫理と実践を考える

人間はなぜ気候変動への対応策についてグローバルな合意に至れないのか。その人間性への深い洞察と、前進へのヒントとなる実践例の報告。

- ✓ 気候変動という問題に対する個人的責任と集団的責任
- ✓ 地域性に根ざした倫理的課題解決
- ✓ 気候変動は単独の方法で解決できるひとつの問題ではない
- ✓ 気候変動への適応策によってもたらされる未来の不確実性
- ✓ 「場」への関心と、「場」に根ざした教育
- ✓ 気候変動への対応を難しくしている人間の心理的特性
- ✓ 人口倫理学が抱えている課題
- ✓ 有機農業運動が生み出す倫理的な互助関係
- ✓ 評判を気にする心理を肯定的に利用できる可能性

「パリ協定」に先だつ 2015 年にニューヨークで開催された国際倫理会議を再構成。

- ▶ 気候変動は単一の問題？（エヴァン・ベリー）
- ▶ 気候変動と人間の道徳的心理（ガイ・カヘーン）
- ▶ 地球への愛着—「自分の居場所」への愛着をどう育ていけるか（ピーター・ヒギンズ）
- ▶ サステナビリティに関する教育の倫理的側面（高野孝子）
- ▶ 気候変動の責任—因果的、道徳的、法的責任と「介入責任」（デール・ジェーミソン）
- ▶ 気候変動の時代に考える責任の所在（豊田光世）

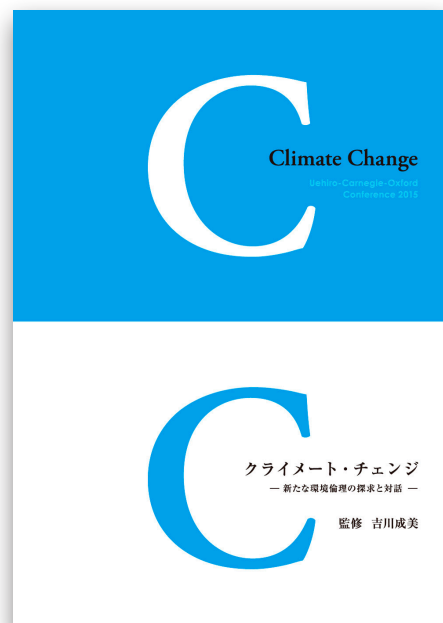
- ▶ 気候変動—最も難しい道徳的挑戦？（イングマー・ペルソン）
- ▶ 温暖化の時代の人口倫理学（グスタフ・アリニャス）
- ▶ 「生態倫理（エコロジカル・エシックス）」による経済コミュニティの創出（吉川成美）
- ▶ 倫理学の心理面から恥の倫理学を考える（ジュリアン・サヴァレスキュ）
- ▶ 惑星哲学・惑星倫理の構築（桑子敏雄）

定価：本体 2000 円＋税

ISBN978-4-87950-630-6 C012

2018 年 10 月発行

清水弘文堂書房



購入を希望される方は、以下の欄にご記入いただき FAX にて送信いただくか、同内容を E メールにてご連絡ください。お電話によるご予約も承ります。

数	量	冊	
氏	名		
住	所	〒	
電 話 番 号		FAX 番号	
E メール	@		

※電話番号、FAX 番号、E メールアドレスは、いずれか一つのご記入でもかまいません。その場合、確実にご連絡できるものをお選びください。

※書籍代金のほか、別途送料が必要となります。

清水弘文堂書房 FAX 03-6680-8464 TEL 03-3770-1922
E-mail : order @ shimizukobundo.com

ご記入いただいた個人情報、書籍注文・送金・発送に関する諸連絡、およびお問い合わせに対する回答を行うために使用いたします。当社において厳重に管理し、他の目的には使用いたしません。